

気象データ使い予測

前田道路、ウェザーニューズ

働き方改革にも貢献

前田道路は、民間気象情報会社のウェザーニューズが提供する1キメツシュピンポイント気象データを活用し、舗装指数を組み込んだ業務支援アプリを開発した。舗装、路盤、土工ごとに指数を3日前から予測し、降雨による工事実施の有無を事前に判断。品質向上に加え、働き方改革にもつなげる。23営業所で試験運用を始めた。

アプリはスマートフォンで工事場所などを入力するだけで利用可能。雨や風の予想などウェザーニューズが提供するピンポイント気象データを活用し、登録した工事場所の舗装指数が確認できる。さまざまなデータを使い熱中症の注意喚起や雷対策も行える。気象データは5分ごとに更新し舗装指数も連動。パソコンでも見ることができる。

雨や風の強さなどで工事実施の有無を判断するしきい値を独自設定しているが、現場担当者の使用実績を基に舗装指数の調整やアプリの精度改善を進めている。

合材工場を含め全社員にスマートフォンを配布しており、2022年度内の本

格運用を目指す。前田道路は施工品質の向上とともに「舗装指数に基づき計画的に休暇を取得することで働き方改革の推進につなげば」と期待している。



アプリ画面イメージ(前田道路提供)

